

事務事業名	市道佐世線(西阿用工区)道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	道路改良G	課長名 松村 直樹
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	村上 誠	電話番号 0854-40-1063 (内線) 2473
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	市道道路整備事業
	目的・対象	道路利用者	意図		項 目 中事業 中事業名	交付金道路整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R2 年度～ R8 年度)	
本路線は大東町佐世地区を縦断する幹線道路であり、生活道として重要な役割を担っており、市民バス路線ともなっている。 そのうち、西阿用地内の本事業箇所を除く区間は既に改良済みであり、本事業で拡幅改良整備することで全線改良整備が完遂されるものである。 整備延長 L=807m 幅員 W=5.0m	
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・(仮称)十王橋下部工左岸工事(R4繰越) ・道路改良工事(R6へ繰越) ・神社石塔移転補償(1件)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 整備率(供用延長／整備計画延長)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【地方債】 過疎債 (工事費):32,310千円(R4繰越分) (補償費): 721千円 (事務費): 2,120千円 (合 計):35,151千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	25,730	281	17,649	105,039	
		県支出金	千円					
		地方債	千円	19,300	800	17,400	72,200	
		その他	千円					
		一般財源	千円	111	36	102	71	
	事業費計		千円	45,141	1,117	35,151	177,310	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	令和5年度中に神社の石塔移転補償契約、道路改良工事の発注を行った。(工事期間の延長により、令和6年度に繰越となった)
② 事業実施するうえでの課題	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。